

3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豐田市美術館

豊田市美術館

2024 年度、豊田市美術館では下記の展覧会を開催する予定です。

夏休みには親子で楽しめる展覧会、秋には、美術の本質を問い、その可能性を展望する展覧会、年明けには気鋭の現代美術作家の個展、人間国宝の回顧展のほか、1年間の改修工事休館を経て新しくなった高橋節郎館のリニューアル記念展の開催を予定しています。

2024年度
展覧会(予定)

エッシャー 不思議のヒミツ

2024年7月13日[土]-9月23日[月・祝] 主催:豊田市美術館

共催：NHK(予定)、NHK プロモーション



グラフィックアートの可能性を追求したオランダの画家マウリッツ・エッシャー(1898-1972 年)。

遠近法的、幾何学的、そして構造的な手法を用いて芸術と科学とを融合させた作品は、見る人の視覚を刺激し、多くの驚きを与えてきました。

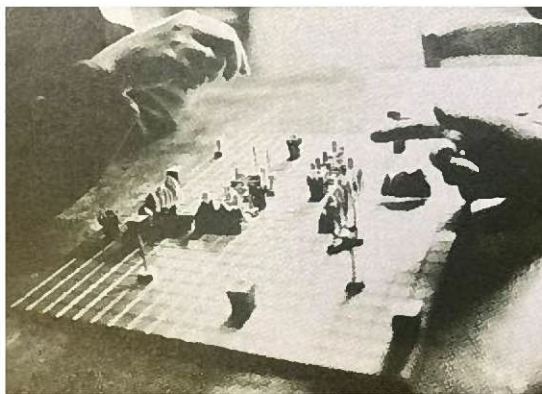
初期から晩年まで、エッシャー芸術の神髄を体験コーナーを交えて紹介します。

《写像球体を持つ手》1935 年、リトグラフ、31.8x21.3 cm

Maurits Collection, Italy, All M.C. Escher works © 2023 The M.C. Escher Company. All rights reserved www.mcescher.com

アナキズムと美術

2024年10月12日[土]-12月27日[金] 主催:豊田市美術館



美術とはそもそも、いまだ了解できていない認識や知覚、領域を拡張してゆく行為だといえます。

本展では、制度化され、統治されることへの抵抗＝アナキズムのうちに美術の本来的な性質と力を認め、近代以降、現在に至る作家たちの活動を通して、その可能性を問います。

参考図版《「戦争ゲーム」で遊ぶアリスとギー・ドゥボール》1987年フランス国立図書館蔵

豊田市美術館

2024年度
展覧会(予定)

玉山拓郎 | 境界・界面・領域(仮)

2025 年 1 月 18 日 [土] - 5 月 18 日 [日] 主催: 豊田市美術館



参考図版

玉山拓郎(1990 年-)は絵画制作を出発点としながら、立体的な造形や光、映像、音を組み合わせたインスタレーションを展開してきた、現在最も注目を集める若手作家の一人です。美術館での初めての個展となる本展では当館の特徴的な展示空間に巨大な物体を貫入させ、未知なる領域を作り出します。

生誕 120 年 黒田辰秋展

2025 年 3 月 15 日 [土] - 5 月 18 日 [日] 主催: 豊田市美術館

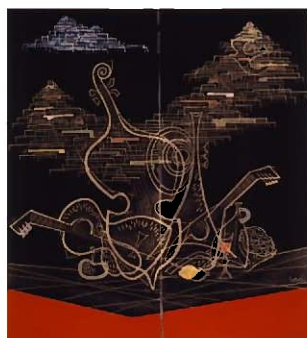


黒田辰秋《赤漆彫華紋飾手篋》1941 年、漆 ヒノキ

漆、貝、木竹など多様な素材を生かす高い技量と造形力により、独自の足跡を工芸史に残した黒田辰秋(1904 - 1982 年)。華やかさとおおらかさを併せ持つ作品を文人墨客は日常的に愛しました。本展では、初期から晩年にいたる代表作に未発表資料も加えて展観し、人間国宝・黒田辰秋の作品世界の真髄にせまります。

高橋節郎館 リニューアル記念展(仮)

2025 年 1 月 18 日 [土] - 5 月 18 日 [日] 主催: 豊田市美術館



高橋節郎《蜃気楼》1960 年、鎗金、彩錆絵、螺鈿

現代工芸を代表する漆芸家の高橋節郎(1914 - 2007 年)。高橋は、これまで生活道具であった漆芸を、屏風や絵画などの美術作品として展開しました。本展では、高橋節郎館のリニューアルオープンを記念して、その革新的な漆作品の数々を紹介します。